



2.ロックウールとアスベスト

Q2-1：ロックウールとアスベスト(石綿)とはどう違うのですか？

A：ロックウールは日本名で『岩綿』と書くことがあるため、ときおりロックウールとアスベスト(石綿)が同一のものではないかとの誤解を生じることがありますが、以下のように全く別の物質です。

ロックウール(スラグウール)	アスベスト
岩綿(がんめん)	石綿(いしわた、せきめん)
工場で製造された人造の鉱物繊維	天然に産出する鉱物繊維
	クリンタイル、アモサイト、クロソドライト、アンソファイト、トリモライト、アクチノライトの6種類がある
非結晶質(ガラス質)	結晶質
単繊維の平均繊維径3~6μm (呼吸器系に入りにくい)	ロックウールに比べ、数十~数百分の一細い(呼吸器系に入りやすい)
原綿 綿状 粒状	原綿(解綿されたアスベスト) クリンタイル アモサイト
	
	
電子顕微鏡写真(500倍)	電子顕微鏡写真(500倍)
国際がん研究機関で、グループ3「発がん性に分類できない」に該当(お茶と同じグループ)	国際がん研究機関で、グループ1「発がん性あり」に該当(喫煙と同じグループ)
使用規制: 特になし ただし、労働者の取扱い時こま「粉じん障害防止規則」が適用となる	使用規制: 禁止 2006年(平成18年)9月1日より なお、石綿を含む既存物の解体等では「石綿障害予防規則」と「大気汚染防止法」が適用となる
多量吸入により、じん肺の可能性あるが、じん肺の症例はなし	じん肺の一種である石綿肺、肺がん、悪性中皮腫の症例あり

Q2-2：ロックウールとアスベストの健康影響は同じですか？

A：ロックウールとアスベストの健康影響は同じではありません。

下表にその比較を掲載しますが、詳細は「ロックウールの健康影響」の項をご参照ください。

項目	ロックウール	アスベスト
発がん性	IARC(国際がん研究機関)グループ3(発がん性に分類できない)	IARCグループ1(発がん性あり)
人に対する呼吸器系障害	症例はないが、長期間、多量に吸入すると、じん肺のおそれはある。	石綿肺、石綿肺がん、悪性中皮腫等
人に対する皮膚障害	一過性であるが、皮膚刺激はある。	皮膚刺激はほとんどない



Q2-3 : ロックウールの製品にはアスベスト(石綿)は混じっていますか？

A : 現在市販されているロックウール製品にアスベスト(石綿)は混じっておりません。

なお、過去にアスベストが混じっていた製品は、吹付けロックウールとロックウール吸音天井板です。

吹付けロックウール(乾式)は 1980 年(昭和 55 年)以前(一部のカラー製品は 1987 年(昭和 62 年)まで使用)に、個別認定品である吹付けロックウール(湿式)は 1989 年(平成元年)以前に、またロックウール吸音天井板は 1988 年(昭和 63 年)以前に施工されているものにはアスベスト(石綿)が混じっている場合がありますのでご確認ください。

なお、詳細は

[「石綿\(アスベスト\)含有製品の製造時期の調査結果について」\(ダウンロード PDF ファイル : 4Page/996KB\)」](#)

をご参照ください。